

# 平成22年度事業報告

社団法人 関東信用金庫協会

## [ 概 況 ]

平成22年秋以降足踏み状態にあったわが国経済は、海外経済の改善などを背景に持ち直しに転じていたが、東日本大震災の発生により先行きは不透明となっており、デフレ状態が続く中で、電力供給の制約、サプライチェーン立直しの遅れ、原油価格の上昇等が下振れリスクとなっているなど、中小企業を取り巻く環境は依然厳しいものとなっている。

このような情勢下、会員信用金庫の業容は、比較的堅調に推移している預金積金に対し、貸出金は、中小企業、地域経済の状況が厳しいこと等を反映して全体では前年比マイナスとなっている。また、収益面では債券運用益の増加、信用コストの減少等により前年比プラスとなっている。

一方、信用金庫業界をめぐる動きとして、預入限度額引上げ等を内容とした郵政改革関連法案が国会に上程されたほか、中小企業等に対する金融円滑化の推進を求めた中小企業金融円滑化法の1年延長、金融ADR制度の実施、日本銀行による成長基盤強化を支援するための新貸出制度の実施など信用金庫の経営に影響のある施策等が行われた。

本会では、このような動きに対して情報収集に努めるとともに、理事会、委員会、部会等の場を活用して会員信用金庫に情報提供を行うとともに、対応等について意見交換を行ったところである。中小企業の経営環境が厳しい中、会員信用金庫にとっては収益力の強化、顧客基盤の拡充が課題となっているが、今年度新たに設置した企画部会、業務部会において、信用金庫のネットワークの活用とイメージアップ戦略、若年層・年金受給者層との取引増強策等をテーマに検討を行い、検討資料等を逐次会員信用金庫に還元したほか、毎年実施してきた利用者満足度合同調査について、今年度は調査の実施に代えて事例発表等を内容とした勉強会を開催した。

このほか、顧客保護態勢の充実・強化の観点から、金融ADR制度において全信協が構築した枠組みに加え、会員信用金庫が管内の仲裁センターを利用できる仕組みの構築に向けて準備を進めるとともに、今年度クローズアップされた視覚障がい者への対応や高齢化社会を見据えた高齢者取引への対応にも取り組んだところである。また、コンプライアンス面では反社会的勢力への対応をテーマに検討会を行い報告書に取りまとめた。一方、広報活動において、今年度は会員信用金庫より要望の多かった金融教育活動の支援に取り組み、担当者の養成を兼ねた事例発表等を内容とした勉強会を実施した。

以上、本会は、会員信用金庫の協力の下、関係各機関と連携を図りながら22年度の事業を実施してきたが、23年度においても事業計画を着実に実施し、会員信用金庫の発展に寄与することができるよう努めていくこととする。

〔 具体的事業 〕

## 1 . 経営基盤強化への対応

### ( 1 ) 中小企業金融円滑化への対応

#### イ . 取引先拡大に向けた取組み

会員信用金庫および東京地区信用金庫の平成 2 3 年度におけるビジネスマッチングの開催予定等をアンケート調査により把握し、会員信用金庫に情報提供を行った。

#### ロ . 企画業務担当者勉強会の開催

会員信用金庫が抱える課題や今後の業務運営等の参考に資するため、地域密着型金融への取組みについて以下のとおり勉強会を開催した。

開催日 平成 2 3 年 1 月 1 8 日 ( 火 )

講演 「ビジネスマッチカタログを核とした企業支援」

講師 米沢信用金庫 融資部地域活性化推進室

副調査役 加藤 博良 氏

「課題解決・地域貢献活動などの価値創造の取組み」

講師 多摩信用金庫 価値創造事業部

部長 長島 剛 氏

「中小機構の概要」

講師 中小企業基盤整備機構 関東支部

企画調整部長 伊藤 誠一 氏

「共済事業の概要」

講師 中小企業基盤整備機構 関東支部

共済部長 窪野 貴佳 氏

### ( 2 ) 収益力向上への対応

#### イ . 企画・業務に係る意見交換会の開催

昨年 の 3 月 に 始 め た 業 務 推 進 上 の 課 題 ・ 諸 問 題 に つ い て の 意 見 交 換 会 を 引 き 続 き 開 催 す る と と も に 、 企 画 業 務 の 課 題 ・ 諸 問 題 に つ い て の 意 見 交 換 会 も 開 催 し 、 そ こ で 出 さ れ た 課 題 ・ 諸 問 題 に つ い て は 理 事 会 に 報 告 す る と と も に 、 従 来 の 部 会 等 を 再 編 成 し 、 今 年 度 新 た に 設 置 し た 企 画 部 会 、 業 務 部 会 の 検 討 テ ー マ を 選 定 し て 行 く う え で の 基 礎 資 料 と し た 。

( 企画に係る意見交換会 )

開催日 平成 2 2 年 4 月 2 2 日 ( 木 )

開催日 平成 2 2 年 6 月 1 日 ( 火 )

開催日 平成 2 2 年 6 月 2 日 ( 水 )

( 業務に係る意見交換会 )

開催日 平成 2 2 年 7 月 9 日 ( 金 )

## ロ．企画部会の開催

信用金庫ネットワークの活用とイメージアップ戦略を検討テーマとして決め、会員信用金庫へのアンケート調査を行った結果、意見交換会、金庫職員派遣の実施、ダイレクトメールの共同調製によるコスト削減、金庫共通商品、ホームページの検討、規定・マニュアル類のひな型作成を具体的検討項目とした。

意見交換会の実施については、会員信用金庫のニーズに合った実務担当者の意見交換会を実施していくためのスキームを作り、定期的に意見交換会を実施していくこととした。また、金庫職員派遣についても、派遣希望金庫と受入可能金庫のマッチングを行うスキームを作成した。

ダイレクトメールの共同調製によるコスト削減については、しんきん情報サービスに「オンデマンドDM作成処理」について説明をしてもらい、会員信用金庫で作成しているDMの中で、その内容が共通しているDMに関して共同調製が可能であるか検討したが、デザインや発送時期などの相違から個別金庫での対応が望ましいという結論になった。

年金旅行に関して、「年金世代」と呼ばれる世代のライフスタイルが変化してきている中で、より魅力的な年金旅行を企画する際の参考資料とするために、年金旅行内容に関するアンケートをとりまとめ、会員信用金庫に還元した。

## ハ．業務部会の開催

取引基盤の拡大及び取引強化を検討テーマとして決め、「若年層取引」、「年金受給者層の取引増強策」、「ビジネスマッチングへの取組み」、「渉外体制」の4つの観点から具体的に検討することとした。

若年層取引については、子育てをキーワードにした施策や、若年層向けの組織化についての施策、また、複合的な若年層取り込み施策等に関して、メガバンク、地銀、先進金庫の事例など業態にとらわれずに情報収集を行い、適宜部会にて報告した。

年金受給者層の取引増強策に関しては、部員金庫から提供していた数値等から作成した資料を基に「高齢者取引の現状把握」を行うとともに、預金(年金)の更なる獲得及び取引継続策、新たな(高齢者層から)収益確保、の2つについて具体的検討を行った。

## ニ．利用者満足度向上に向けた取組み

これまで継続実施してきた利用者満足度合同調査を今年度は実施しなかったことから、それに代えて会員信用金庫を対象に利用者満足度向上のための勉強会を開催した。

開催日 平成22年12月7日(火)  
講演 信金中央金庫 地域・中小企業研究所  
副所長 松崎英一氏  
金庫事例発表  
しののめ信用金庫 総合企画部  
次長 駒井英樹氏  
大田原信用金庫 総務部  
副部長 渋谷実氏  
グループ討議

#### ホ．しんきん自動集金サービスのIT化

現在の「SISマスタ管理方式」は、かねてから情報管理の問題点が指摘されており、平成21年度よりリスク回避の観点から同方式を段階的に廃止し、代替手段として安全性の高いサービスパターンを導入する検討を行っているが、本年度も引き続き、取扱方法の改善について検討を行った。

#### 第3回検討会

開催日 平成22年5月25日(火)  
検討内容 ・「SISマスタ管理方式」の代替手段  
・「SISマスタ管理方式」の新規受付終了後の各金庫の状況

#### 第4回検討会

開催日 平成22年6月25日(金)  
検討内容 ・「ペイバイFAX方式」導入に伴う課題  
・「SISマスタ管理方式」の既存元請企業への対応

#### 第5回検討会

開催日 平成22年7月27日(火)  
検討内容 ・「ペイバイFAX方式」の導入  
・「SISマスタ管理方式」の既存元請企業への対応

#### 第6回検討会

開催日 平成22年10月15日(金)  
検討内容 ・「ペイバイFAX方式」の導入等

#### 第7回検討会

開催日 平成22年12月21日(火)

- 検討内容
- ・「Eメール方式」のソフトウェアの変更
  - ・「S I S マスタ管理方式」の今後の取扱い

### (3) リスク管理・法令遵守等内部管理態勢の強化

#### イ．金融庁検査・日銀考査への対応

金融庁検査では、これまで金融機関において、適切なリスク管理をベースとして、中小企業及び個人の実態を踏まえた円滑かつ積極的な金融仲介機能が発揮できる態勢が整備されているか、を重点的に検証してきたが、こうした観点に加え、金融機関がコンサルティング機能等を十分に果たしながら、引き続き、円滑かつ積極的な金融仲介機能が発揮できる態勢が整備されているかを重点的に検証するとされた。

一方、日銀考査においては、金融機関は基礎的な収益力を向上させつつ、業務やリスク・プロファイルに即して適切にリスクを管理し、経営の健全性を確保していくことが求められているとの認識の下、金融機関の資産内容、経営体力、流動性などを詳細に点検すること、金融仲介機能の発揮に必要な審査・管理力の向上や、企業再生支援の実効性向上に向けた体制整備等について、検証や助言を行うこととされた。

これら検査・考査方針に適切に対処するため、関東財務局、日本銀行の担当者による「検査、考査講座」を実施する等、会員信用金庫に対する主旨の徹底を行った。

(参考)平成22年度中の検査、考査状況

金融庁検査	29金庫
日本銀行考査	8金庫

#### ロ．コンプライアンス検討会の開催

暴力団等の反社会的勢力への対応をテーマに、各種規定への暴排条項の導入などの体制整備、反社情報データの管理態勢、取引解消事例や窓口対応事例を中心に検討し、報告書をとりとまとめた。

##### 第1回検討会

開催日 平成22年9月1日(水)

検討内容 ・暴力団との取引解消に向けた金庫の取組み

##### 第2回検討会

開催日 平成22年11月11日(木)

検討内容 ・金庫体制整備に関するアンケート(案)の検討  
・暴力団等の反社会的勢力排除の対応事例報告

### 第3回検討会

開催日 平成23年2月22日(火)

検討内容 ・ 講話「反社会的勢力排除への体制整備」

講師 関東財務局金融監督第二課長

吉野 啓司氏

・ 金庫体制整備に関するアンケート結果報告

### 八．常勤監事連絡会の開催

常勤監事連絡会世話人会において時宜に適したテーマを選定し、開催した。今年度は内部統制システムに関する講演や金融円滑化に関する検査動向、同法における監事監査のあり方に関するグループ討議を行った。

また、期末監査についてのアンケート調査を行い、そのとりまとめ資料を基にグループ討議を行った。

第1回 平成22年8月5日(木)

中央情勢報告

全国信用金庫協会 コンプライアンス部長 相澤 晃氏

事例発表「金融円滑化に関する検査について」

グループ討議

・ 金融円滑化に関する検査について

第2回 平成22年12月16日(木)

中央情勢報告

全国信用金庫協会 企画部長 市川 崇氏

講演「内部統制と企業の対応～監査の現場から」

東洋エンジニアリング株式会社

常任監査役 蒲生 邦道氏

(日本監査役協会 監査法規委員会委員長)

第3回 平成23年3月8日(火)

講演「監事監査の実務対応」

信金中央金庫 常勤監事 藪下 裕久氏

グループ討議「期末監査について」

- ・ 自己査定結果の検証
- ・ 通常総代会関係日程の監査
- ・ 期中の監事監査結果の集計・整理
- ・ 貸借対照表・損益計算書および業務報告の監査
- ・ 剰余金処分案(損失金処理案)の監査
- ・ 監査報告書の作成・提出

## 新任常勤監事を対象とした勉強会

開催日 平成22年9月10日(金)

テーマ ・常勤監事の心構え  
・監事監査実務の事例  
・内部統制システムに係る監事監査

講師 関信協常勤監事連絡会世話人

## 2. 業界課題への対応

### (1) 中小企業金融円滑化法への対応

当局において中小企業金融円滑化法の施行期限の延長が検討されたことに伴い、地区別役員協議会における当局との折衝経緯、円滑化法延長の概略の報告を受けて、本会委員会、部会において今後の業界対応について意見交換を行った。

### (2) わがまちビジネスアイデア・コンテストへの対応

地域活性化しんきん運動「わがまち起業家発掘プロジェクト」の一環として、全信協が高校生・高専生を対象に新たに企画したコンテストについて、募集及び審査を行った。

関東地区では5校から9アイデアの応募があり、11月29日に行われた第3回業務部会において最終審査会を実施した。地域の現状と可能性をよく反映している、地域の経営者や住民の強い共感を呼びそう、地域代表として全国に情報発信したい内容である、といった視点で協議を行い、関東地区代表には『“T a s t e f u l = テイストフル”(風情のある)癒しのまち「さわら」へ』と『甲府市中心街彩開発』の2つのアイデアが全国大会へ選出された。

全国大会は1月9日、10日に法政大学市ヶ谷キャンパスで開催され、各地域代表38グループの中から5グループに「信用金庫わがまち維新大賞」が授与された。また、参加高校生同士の投票により選ばれた2グループに対しては「わがまちアイデア共感賞」が授与されたが、残念ながら関東地区はいずれの入賞もなかった。

### (3) 環境問題への対応

会員信用金庫における環境保全活動について、関信協レターを活用して情報提供を行った。

飯田信用金庫の環境への取組みについて

### 3. 顧客保護態勢の充実・強化への取組み

#### (1) 金融ADRへの対応

昨年10月から金融ADR制度が施行され、信用金庫業界においては業界内に指定紛争解決機関を設置する代替措置として、全信協が東京三弁護士会と協定を締結し、当該弁護士会の仲裁センターを利用する制度を構築した。

しかしながら、昨年12月に開催された全信協「地区協会事務局会議」において、金融庁担当者より「顧客の利便性等を考慮した場合、東京だけでなく地元での紛争解決手段もあったほうが望ましい」との指摘がなされ、これを受け全信協から各金庫に対して、地元での紛争解決手段の構築について検討してほしい旨文書が発出された。

本会理事会で協議した結果、顧客の利便性を考えた場合、地元の仲裁センターを利用できる仕組みを構築しておくことが必要との結論となり、本会において弁護士会に仲裁センターの設置されている県（埼玉県、神奈川県、新潟県、山梨県）の仲裁センターと協定を締結するため準備を進めている。

#### (2) 視覚障がい者への対応

金融庁より全信協に対して金監第2157号（平成22年8月26日付）にて、「視覚障がい者団体の方々からの強い要請があることを念頭に置き、更に一層積極的に取り組んでいただきたい」旨の要請が行われたことから、会員信用金庫の対応状況をとりまとめ情報還元を行ったほか、視覚障がい者団体と管内金融機関との意見交換会に出席し、本会の対応について説明するとともに情報収集に努めた。

#### (3) 高齢者取引への対応

事務改善研究会において、わが国における高齢化の現状等を整理し、研究会金庫における高齢者等との取引に関するQ&Aや高齢者等との取引におけるトラブル事例、成年後見制度をはじめとした規定類の事例をとりまとめた。

第1回 開催日 平成22年10月20日（水）

第2回 開催日 平成22年12月21日（火）

第3回 開催日 平成23年 1月25日（火）

第4回 開催日 平成23年 2月23日（水）

#### (4) 金融犯罪撲滅に向けた取組み

振り込め詐欺については、認知件数、被害総額ともに減少傾向にある中、主に高齢者が被害者となるオレオレ詐欺が増加している。

また、金融機関を使わず、直接キャッシュカードや現金を受け取りに来る手渡し型の詐欺被害も散見された。

本会では、犯罪未然防止を目的に県協会主催会議において被害の動向、最新金融犯罪事例を報告、情報の共有化を図るとともに、本会ホームページを活用して、一般顧客にも注意喚起を行った。

#### 4. 信用金庫のイメージアップのための広報活動の推進

##### (1) PRコンクールの実施

平成22年度PRコンクールは、信用金庫会館京橋別館に出展全作品を展示して業務部会部員による第1次審査、広報委員会委員による最終審査により実施した。また、昨年同様にPR担当者勉強会参加者に各部門（審査対象外部部門も含む）で最もよい作品を選定してもらうのに加え、アンケート結果において、一般の人の審査の要望があったことから、京橋別館に勤務する関連団体役職員等に展示を見学し、作品評価の投票をしてもらい、その点数も一次審査に加えた。

コンクール対象部門に変更はなかったが、広報に関する意見交換会において「店舗ディスプレイ部門には、季節やイベント等の飾り付けだけでなく、店内を整理したのも出品されると良い」という意見があり、これに対するアンケート調査でも多くの会員金庫が必携ポスターの掲示スペースに苦慮しており、他金庫の事例を見たいという賛成意見が多数だったため、試行的に必携ポスター等の掲示事例等店舗を整理した様子も募集し、参考展示を行った。

応募作品状況（40金庫 1県協会 354作品）

##### （一般審査部門）

カレンダー部門（24金庫 1県協会 30作品）

ポスター部門（23金庫 1県協会 84作品）

チラシ・パンフレット部門（34金庫 1県協会 138作品）

頒布品部門（19金庫 53作品）

##### （特別審査部門）

地域密着部門（16金庫 30作品）

店舗ディスプレイ部門（10金庫 19作品）

##### （参考展示）

必携ポスター掲示（5金庫 5作品）

##### 審査方法

審査基準 作品・活動のねらい（意図）  
表現力（訴求力）  
共感度（反応）  
信用金庫らしさ（地域性）

第一次審査 平成23年1月13日 業務部会部員

第二次審査 平成23年1月14日 広報委員会委員

### 作品展示

#### ・全作品（審査用）

期間 平成23年1月12日（水）～1月14日（金）

会場 信用金庫会館京橋別館3階大会議室

#### ・一部入賞作品（一般PR用）

期間 平成23年2月14日（月）～2月25日（金）

会場 信用金庫会館（八重洲ファーストファイナンシャルビル）  
1階ロビー

このほか全入賞作品を協会ホームページに掲載するとともに、作品展示について、本会ホームページにおいて告知した。また、展示した作品を希望者に抽選でプレゼントすることとしたところ、17金庫の37作品に85名の方から希望があった。

### 表彰

2部門以上での入賞を「総合優秀賞」、1部門での入賞を「優秀賞」とし、また、特別審査部門については「関東信栄懇話会賞」として、平成23年6月開催の本会総会で表彰する。

#### 一般審査部門

総合優秀賞			優秀賞		
鹿沼相互	信用金庫		佐野	信用金庫	
飯能	信用金庫		アイオー	信用金庫	
川崎	信用金庫		川口	信用金庫	
三条	信用金庫		青木	信用金庫	
			銚子	信用金庫	
			三浦藤沢	信用金庫	
			湘南	信用金庫	
			さがみ	信用金庫	
			長岡	信用金庫	
			加茂	信用金庫	
			山梨	信用金庫	
			長野	信用金庫	
			諏訪	信用金庫	
			長野県信用金庫協会		

#### 特別審査部門（関東信栄懇話会賞）

地域密着部門・・・川崎信用金庫

店舗ディスプレイ部門・・・さがみ信用金庫

### （2）全作品を紹介したCDの作成・配布

会員金庫における今後の広報活動の参考となるようPRコンクールに出品された全作品を紹介したCDを作成し配布した。

( 3 ) P R 担当者勉強会の開催

開催日時 平成 2 3 年 1 月 1 2 日 ( 水 )

開催場所 信用金庫会館京橋別館 1 1 階会議室

勉強会内容

講演・・・「信用金庫の広報戦略～巣鴨信用金庫の様々な取組と  
その広報について～」

C S ・ホスピタリティ実践研究所

代表 田中 実 氏

作品閲覧及び審査

意見交換会・・・テーマ「C S R 活動など地域貢献への

取組みとそのP R 活動について」

「効果のあったP R 活動の事例について」

参加人員 3 3 金庫 4 0 名

( 4 ) 広報に関する意見交換会の実施

6 月 2 8 日から 3 回に分けて規模別に計 1 4 金庫から担当者を招聘し、  
それぞれが抱える広報活動の課題等について意見交換会を開催し、その際  
出された意見のうち、必携ポスター等の掲示事例の参考展示、チラシ等ひ  
な形の共有化等については今年度事業の中で対応した。

( 5 ) チラシ等のひな形の共有化への対応

広報に関する意見交換会において、チラシ等は他の金融機関の事例を見  
ながら作成しているのが実態であり、ひな形が参照できると良いという意  
見が出されたことから、P R コンクールの募集の際に出品作を他信用金庫  
が利用することに了承が得られたものについて、本会でインデックスを作  
成、画像のC D とともに送付し、会員信用金庫から照会があった場合に本  
会から現物のコピーを送ることとした。

( 6 ) 金融教育活動に関する勉強会の開催

今年度より会員信用金庫が実施している金融教育活動の支援に取り組むこ  
ととし、アンケート調査等を基に担当者の養成も兼ねた勉強会を開催した。

開催日時 平成 2 3 年 3 月 9 日 ( 水 )

開催場所 信用金庫会館京橋別館 1 1 階会議室

勉強会内容

講演 「信用金庫の方による金融教育活動」

のご参考情報・材料について

日本銀行 情報サービス局 竹内 俊久 氏

## 事例発表

### 金融出前授業

「ちばしんきん金融教室」について

千葉信用金庫 総合企画部

調査役 齋藤寛史氏

桐山康子氏

「当金庫の金融経済教育について」

横浜信用金庫 総合企画部

主任調査役 小松秀喜氏

阿部陽子氏

## 意見交換

「教材・頒布品等の共同購入について」

参加人員 27金庫35名

## (7) アニメキャラクター「それいけ！アンパンマン」の推進

採用金庫推進事例を紹介するため新たに「アンパンマンレター」を発刊し、採用金庫から寄せられた情報を随時発信していくこととした。

昨年度模様替えしたプロモーション協議会については、11月10日に開催し、17金庫のほか各地区の情報サービス会社から総勢30数名が出席した。日本テレビ音楽によるアンパンマンの今後の活用方法についての講演のほか、4金庫によるプロモーション事例の発表、アンパンマンを使ったプロモーショングッズのアイデア審査など昨年とほぼ同様の内容で行った。プロモーショングッズのアイデア審査では、全国から応募のあった164点の中から卓上カレンダーが最優秀賞に選ばれ、次年度の商品化に向け検討が行なわれることとなった。

また、採用金庫のイメージアップ、店頭での営業推進あるいは渉外担当者のコミュニケーションツール等に活用できるよう、本会で「アンパンマンバッチ」とプロモーショングッズのアイデア審査で関信協賞に選ばれた「アンパンマン等身大パネル」を作成し、採用金庫に配布した。

このような取組みについて積極的にPRし推進を図ったところ、新たに1金庫で採用され、採用金庫数は全体で昨年同様の39金庫となった。

## (8) 「信用金庫の日」における活動の実施

会員信用金庫の統一社会貢献事業として平成10年度より実施している献血・募金活動を平成22年度も実施し、集められた募金については各県毎に社会福祉協議会等に寄贈した。

	献血実施人員	募金額
平成22年度	2,793人	4,860,515円
平成11年度からの累計	37,153人	58,168,212円

また、社会貢献、環境保護をテーマに会員信用金庫が独自に実施した活動結果を集約し、あわせて本会ホームページに掲載しアピールを行った。

( 9 ) ファミリー映画上映会の実施

22年度はメイン作品として、アカデミー賞受賞作品「カールじいさんの空飛ぶ家」と少女と犬の友情を描いた「ボルト」を紹介し、4金庫（東海地区1金庫含む）が実施した。

金庫数	上映回数	人数
4金庫	5回	3,900名

5 . 苦情・相談業務への対応

本会における苦情解決促進体制は、全信協で制定した「信用金庫業務の苦情・紛争解決促進に関する規則」を基に取扱要領を定め、苦情・相談を受け付けている。平成22年度の取扱件数は下記のとおりとなっている。

( 1 ) 平成22年度の苦情・相談取扱件数

		苦情	相談	合計
預金業務		1	0	1
貸出業務	貸出の内容	0	0	0
	貸出の姿勢	0	1	1
	回収関係	2	0	2
	その他	2	0	2
為替業務		0	0	0
手形不渡		0	0	0
証券業務		0	0	0
その他		3	1	4
合計		8	2	10

( 2 ) しんきん相談所全国連絡会議への参加

しんきん相談所全国連絡会議に参加し、全国、各地区協会しんきん相談所と苦情相談の受付状況や特徴的な内容について情報交換を行った。

日 時 第1回 平成22年 8月27日(金)

第2回 平成22年12月14日(火)

場 所 信用金庫会館4階 会議室

参加者 全国しんきん相談所・各地区協会しんきん相談所

( 3 ) 担当者向け研修の開催

クレーム対応の実践としんきん相談所に寄せられる実例の説明を内容とした苦情相談担当者講座を開催した。

( 4 ) 金融ADR制度への対応

10月1日から金融ADR制度が施行され、信用金庫業界は業界内に指定紛争解決機関を設置する代替措置として、全信協が東京三弁護士会と協定を締結し当該弁護士会の仲裁センターを利用する制度を構築した。

本会においても顧客の利便性を考慮し地元での紛争解決手段の構築を図るため、当地区に仲裁センターが設置されている4県の弁護士会と協定を締結するための準備を進めている。

## 6. 人事教育に関する事項

### (1) 研修講座の実施

理事長・役員を対象とする講座

信用金庫の研修ニーズを把握し、随時、時宜にあったテーマによる説明会、勉強会を実施した。

金融庁検査・日銀考査講座

平成22年8月24日(火) 48金庫 87名

「最近の検査結果の状況等について」

講師：財務省 関東財務局 理財部  
検査監理官 鳥屋 栄二 氏

「平成22年度の考査方針について」

講師：日本銀行 金融機構局 考査課  
企画役 清水 秀昭 氏

経営管理者講座

平成22年12月10日(金) 30金庫 41名

「最近の金融行政の動向について」 バーゼル の改正を中心に

講師：(社)全国信用金庫協会  
企画部長 市川 崇 氏

「金融機関における認知症対応について」

講師：全国キャラバンメイト連絡協議会  
事務局長 菅原 弘子 氏

本部スタッフ・管理者層を対象とする講座

本部スタッフ・管理者層を対象とする研修については、金庫のニーズを踏まえリスクマネジメント、OJTスキル向上、メンタルヘルス対策などの講座を実施した。

中堅管理者講座

平成22年5月13日(木)～14日(金) 5金庫 10名

「仕事の管理と人の管理をバランスよく身につける」

講師：(株)メッツコンサルティング  
代表取締役 新井 陽二 氏

管理者のためのメンタルヘルス講座

平成22年11月17日(水) 11金庫 11名

「管理職の視点から職場の人間関係の築き方」

講師：(株)ライフデザイン総合研究所

常務取締役 主任カウンセラー・専任講師

臨床心理士 榊原 明美 氏

リスクマネジメント講座

平成22年11月25日(木) 11金庫 関連1社12名

「内部告発と危機管理<机上シミュレーション>」

講師：共同PR(株)取締役 篠崎良一氏

苦情相談担当者講座

平成23年01月27日(木) 22金庫 25名

「リスクマネジメントを考えた、クレーム対応の仕組みを構築」

講師：マネジメントサポート 工藤 アリサ 氏

「信金業界における相談・苦情対応について」

講師：全国しんきん相談所 並木 和夫 氏

スキルアップを目的とした講座

融資担当者を対象に実務講座を開催した。

融資法務講座

平成22年06月08日(火)～09日(水) 6金庫 9名

講師：経済法令研究会 顧問 瀧浪 武 氏

法人融資開拓講座

平成22年07月14日(水)～16日(金) 5金庫 19名

講師：T&K経営コンサルティング(株)

代表取締役 遠藤 高明 氏

融資審査・管理講座

平成22年11月10日(水)～12日(金) 13金庫 34名

講師：日本ビジネスドック診断指導協会

理事 明沼 博通 氏

ライフデザインセミナー

定年を控えた役職員の方へのバックアップとして退職後の社会保険、年金等の受給手続きなどについて説明した。

平成22年 9月 7日(火) 17金庫 67名

10月11日(金) 21金庫 98名

「定年後の生活を考える」、「定年後の家計プラン」

講師：住友生命保険相互会社 法人統括部

セミナー開発室 渉外部長 中村 榮昭 氏

「定年後の社会保険等及び信用金庫年金の給付について」

講師：全国信用金庫厚生年金基金

社会保険労務士 丸茂 孝治 氏

## 海外研修

中国経済事情視察

平成22年 7月12日(月)～17日(土)

4金庫 2団体 事務局 計13名

米国経済事情視察

平成22年10月17日(日)～23日(土)

5金庫 2団体 事務局 計11名

## 上海万博視察

信用金庫の顧客を対象に上海万博の視察を実施した。

第1回 平成22年5月12日(水)～15日(土) 3金庫 61名

第2回 平成22年5月19日(水)～22日(土) 2金庫 33名

## (2) 研修講座の改訂

これまで実施してきた研修講座の中には参加人数が少なくなっている講座も出ていることから、アンケート調査、意見交換会でいただいたご意見を参考に、平成23年度に実施する研修において中堅管理者講座、管理者のためのメンタルヘルス講座、海外研修等既存講座の見直しを行うとともに、新たに店長情報勉強会、女性リーダー養成講座、若手渉外職員養成講座、専門知識習得講座を設置することとした。

## (3) 人事教育に関する課題への対応

今年度は、本会で実施したアンケート調査や意見交換会の中で、「指示待ち」「コミュニケーション不足」「わからないことを聞いてこない」等の若手職員の育成に苦慮するとの意見が多く出されたことから、育成で苦慮する点、若手職員を指導する教育担当者の指導体制の問題点等について、会員信用金庫にアンケート調査を行うとともに、数金庫の若手職員、若手渉外職員による意見交換会を実施した。取りまとめ結果については、理事会、人事教育委員会に報告したほか、数金庫の人事担当役席者による意見交換会を通じて検証を行い、平成23年度に若手渉外職員研修講座を新設する

とともに、従前の中堅管理者講座をOJTスキル習得講座に改訂することとした。

また、人事教育委員会の中で、女性職員の育成、活用が重要であるとの指摘が行われたことから、会員信用金庫の状況についてアンケート調査を行うとともに人事担当役席者と意見交換を行い、平成23年度に女性リーダー養成講座を新設することとしたほか、平成23年度の人事教育の検討課題として取り上げることとした。

## 7. 福利厚生事業に関する事項

### (1) グループ保険等の推進

会員金庫役職員の福利厚生事業の柱として、本会共済会が長年にわたって制度の充実と伸展に努めてきた本制度は、高加入率によって低廉な保険料と安定した配当金が確保されている。今年度も会員信用金庫の協力を得て新入職員の全員加入促進を中心に募集を実施した。

#### 22年度募集結果

保険制度名	本人加入者数	前年比	保険金額 月額保険料	前年比
A型グループ	12,232	21	59,249	537
B型グループ	16,605	91	221,525	8,964
セカンド	15,961	10	25,125	732
グループ医療	3,566	168	7,239	1,184
C型医療	3,131	276	17,334	903
リビングニーズ	364	70	1,217	166
退職後保障	1,755	154	24,563	2,494
個年控除型	2,848	114	30,874	1,039
三大疾病	2,094	4	6,740	128

注：A型、B型、セカンドは保険金額で百万円単位。それ以外は月額保険料で千円単位

#### B型グループ保険加入率等推移 (単位：人、%、千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
役職員数	22,831	22,955	23,246	23,209
本人加入率	71.2	70.9	71.0	71.5
支払保険金額	371,235	398,541	514,045	
配当率	51.92	47.69	36.58	

#### 21年度支払状況

B型グループ	死亡保険金	災害入院給付金	合計
件数	29 (19)	38 (40)	67 (59)

金額(万円)	49,700 (38,500)	1,704 (1,354)	51,404 (39,854)
--------	--------------------	------------------	--------------------

注：( )は20年度

#### 各種制度別生保委託割合の改訂

平成22年3月期決算等を基にした本会の委託生保会社の経営内容は、本保険制度の委託基準をクリアーしているため、新入職員の募集実績を中心にシェア改訂を図り、8月2日開催の第3回理事会で委託割合の一部変更を報告した。平成22年度の各社別委託割合は次のとおり。

(単位：%)

生保名	A型	B型	セカンド	医療保障	退職後保障
明治安田	49.0	41.8	41.7	100.0	48.0
富国	30.4	30.6	31.4		35.0
第一	17.1	20.1	20.1		10.0
日本	0.1	2.0			4.0
大同	1.8	1.3	2.0		2.0
フコクしんらい	0.5		1.0		
住友		2.9	2.6		
太陽		0.1			
アクサ	1.0	1.0	1.0		1.0
三井	0.1	0.2	0.2		
計	100	100	100	100	100

注：医療保障については短期入院特約付加のため明治安田生命の単独契約となる

#### 事務手数料等の還元について

会員信用金庫に対して加入促進にかかる事務費用として、B型グループ保険の本人加入人数に応じ総額1,000万円を配賦、また募集事務費としてB型グループ保険の新規本人加入者一人あたり3,000円、総額320万円を配賦した。

#### (2) 地区野球大会の実施

役職員の健康増進、技量練磨や親睦を図るとともに、スポーツの振興を目的に、次のとおり野球大会を開催した。

##### 第51回野球大会

##### 中央大会予選会

各県で5月～7月に中央野球大会の出場をかけて予選会を実施した。

##### 中央大会

月 日

平成22年9月4日(土)～5日(日)

会 場 埼 玉 県「埼玉県営大宮公園野球場」  
 埼 玉 県「さいたま市営大宮球場」  
 成 績 優 勝 青 木 信用金庫チーム  
 準優勝 千 葉 信用金庫チーム

( 3 ) 福利厚生事業の推進

ニッポンレンタカーとの提携

レンタカー割引制度ワンデイクーポンを紹介した。

22年度実績：26枚、235,095円

東京ディズニーリゾート、マジックキングダムクラブとの提携

会員信用金庫役職員・家族の余暇活動の一助として割引チケットを斡旋した。

	東京ディズニーランド	東京ディズニーシー
使用回数	742	522
来園人数	2,482	1,723

(株)プリンスホテルとの提携

プリンスホテル系列の宿泊及び関連施設(スキー場、ゴルフ場など)を活用した。

22年度実績：94名

管内信用金庫保養所施設との提携

4信用金庫の施設を会員信用金庫役職員に開放した。

22年度実績：8件、24名

<参考> 契約保養所(平成23年3月末現在)

施設名	金庫名
バイスバーデン月夜野	しののめ
霧降高原荘	川口
軽井沢山荘60(シックスオー)	湘南
信用金庫京都イン201号室	さがみ

(株)セレモアつくばとの提携

22年度実績 5件

( 4 ) メンタルヘルス相談サービスの実施

期待と現実のギャップや職員を取り巻く社会環境の変化などから、メンタルな悩みを持つ職員が増加しており、これに対応すべく、会員信用金庫の役職員並びに家族を対象にメンタルヘルス相談サービスを平成18年1

月から実施しているが、役職員へより一層の周知を図るためチラシ、パンフレットの配布を行なった。

なお、本サービスの利用状況は、以下のとおりとなっている。

電話（専用フリーダイヤル）によるカウンセリング・・・153件

面接によるカウンセリング・・・47件

（平成22年1月～12月の実績）

## 8. しんきん経営者協議会事業等の推進に関する事項

### (1) しんきん経営者協議会事業

しんきん経営者協議会事業の推進について

しんきん経営者協議会事業は、昭和62年の制度発足以来、信用金庫の主要取引先である地元企業発展への寄与を目的とするとともに、経営者年金口座の獲得による顧客のメイン化を進めてきたが、その後の生保業界を取り巻く経営環境の悪化と年金支払者の出現等により減少傾向を辿ってきた。

この傾向を抑え、既加入者のための制度維持のため、窓版商品との差別化を図りながら、会員信用金庫の多大な協力を得て積極的に推進を図った。22年度からは本会の職員による直接募集を開始し、23度は毎月県別に推進を依頼し拡大を図っていく。

#### イ. 生保委託割合の見直し

委託割合については生保会社の経営内容、利差配当に大きな変化が見られなかったため前年通りのシェア配分とした。

#### ロ. 委託生保の経営内容のヒヤリング

本会では生保の3月決算と9月中間決算の公表時に委託生保の決算状況の報告を受け、経営内容の把握、運用状況の確認に努めている。

#### ハ. 手数料等の還元について

平成22年度は、全金庫及び全しんきん経営者協議会に事業費補助金2,790万円、年会費334万円、口座振替手数料2,509万円、新規口座開設費83万円、また、追加・増口募集費として131万円を還元した。

### しんきん経営者協議会加入状況

	平成22年9月	平成21年9月	平成20年9月
事業所数	16,717先	18,430先	20,537先
加入者	21,269人	26,300人	28,927人
加入口数	39,571口	48,787口	53,055口

### 情報誌「ALONG」発行

地域に根付いた「モノ」「人」「食文化」のレポートや「心の健康」「マーケティング」などの情報提供を目的に年2回発行し、会員に配付しているが、今年度は第一生命保険相互会社の株式会社化に伴う割当金収入があったことから、年金、介護、健康等関心の高い項目をテーマにした特別号を発行した。会員信用金庫役職員による顧客への配付のほか、会員向けに実施する講演会等でも配付を依頼した。

### 無料電話健康サービスの実施

(株)保険同人社との提携により、協議会会員がフリーダイヤルで「電話健康相談」が受けられるサービスを行なっている。利用者拡大のため、経営者年金制度既加入者宛のDMにチラシを挿入し周知徹底を図った。

### 会員信用金庫経営者協議会への支援

会員信用金庫経営者協議会は、会員を対象に様々な協議会事業を実施しているが、今年度は下記の事業について本協議会より事業費補助金として経費の一部を支援した。

平成22年度事業費補助金総額 42金庫 2,790万円

事業内容	金庫数	事業内容	金庫数
講演会	26	祭りへの参加	2
情報誌の配布	6	映画会・イベント	4
研修会・セミナー	4		

### 人間ドックに対する補助

会員が人間ドックを利用した場合、受診料の10%を補助した。

### 講師斡旋

各種講演会の講師の紹介及び斡旋を行ったほか、講師料の一部補助を行った。

## (2) 団体信用生命保険制度

平成21年度(21年7月～22年6月)の証貸団信決算状況

実施金庫数	48金庫
期末人員	8,612人
期末保険金	95,205百万円
死亡件数	57件
死亡保険金	699,158千円
適用料率	5.72円

RCC扱いの1件を含む

## 配当その他

21年度は保険事故が多く配当金の支払いはなかった。毎年加入者の平均年齢と保険料率が上昇傾向にあるため、常に商品認知度の向上とPR活動の見直しを図ることが必要である。

## 最高保険金額の引上げ

会員信用金庫の要望を踏まえ、医療関係に限定して最高保険金額を5千万円から1億円に引き上げた。

### (3) 保険窓販研修会の実施

保険窓販に関する最新情報及び内部監査等の実務対応について全信協保険業務部より講師を招き研修会を実施した。

会議名	第19回保険窓販担当者研修会
開催日	平成22年9月29日(水)
会場	信用金庫会館京橋別館 3階大会議室
参加者数	44金庫 75名
主な内容	「保険販売業務に係る内部監査等の実務対応について」 1. 保険販売業務の解禁経緯と現況 2. 保険販売業務取組にあたって必要な弊害防止 3. 保険販売業務の内部監査・法令点検等実施にあたってのポイント 4. その他(意見交換等)

## 9. 調査・統計に関する事項

### 調査・統計資料の作成等

#### 信用金庫決算概況の発行

預金積金、貸出金等報告書の発行(毎月)

関東地区主要業況・県別主要業況の発行(毎月)

県別要求払預金・定期性預金増減表の発行(毎月)

県別大口定期預金・公金預金増減表の発行(毎月)

県別業種貸出残高報告書の発行(四半期)

各種経済動向調査の関信協管内のとりまとめ

- ・東京商工リサーチ「企業倒産情報」(毎月)
- ・関東財務局「経済情勢報告」(四半期)
- ・関東財務局「法人企業景気予測調査」(四半期)
- ・日本銀行「企業短期経済観測調査」(四半期)
- ・内閣府ほか「景気指標」(半期)

## 10. 理事長勉強会の開催

取引先企業活性化への取組み、人材活用、今後の経済マーケット動向など信用金庫を取り巻く様々な問題について、平成22年度も次のとおり理事長勉強会を開催した。

第13回 平成22年4月23日(金)信用金庫会館京橋別館

1. 「当金庫における地域活性化の取組み」

帯広信用金庫 理事長 増田正二氏

2. 「現代若者気質を探り人材活用に活かす」

東京富士大学 准教授 竹内倫和氏

第14回 平成22年9月13日(月)銀座ラフィナート

1. 「最近の金融行政等について」

関東財務局 検査監理官 鳥屋栄二氏

関東財務局 金融監督官 金森正樹氏

第15回 平成23年1月21日(金)信用金庫会館京橋別館

1. 「中国経済の現状と展望」について

日本貿易振興機構 アジア経済研究所

理事 丸屋豊二郎氏

2. 「平成23年の金融市場動向」について

東短リサーチ

チーフエコノミスト 加藤出氏

## 11. 総会の開催

第58回：平成22年6月4日

つくば市「オークラフロンティアホテルつくば」

議案

1. 平成21年度事業報告承認の件
2. 平成21年度会計決算書承認の件
3. 役員改選の件

第59回：平成23年2月24日

東京都中央区「銀座ラフィナート」

議案

1. 平成23年度事業計画決定の件
2. 平成23年度収支予算決定の件
3. 平成23年度会員経費分担方法決定の件

## 12. 理事会・委員会等の開催

### 理事会

- 第1回 平成22年5月12日(水)
1. 第58回通常総会に上程する議案について
  2. 全信協・信金中金への役員の推薦について
  3. 全信協各委員会への委員の推薦について
  4. 諸規程の一部改正について
  5. グループ保険会計収支予算の更正等について
- 第2回 平成22年6月4日(金)
1. 正副会長並びに常務理事の互選について
- 第3回 平成22年8月2日(月)
1. 会員信用金庫の役員異動状況について
  2. グループ保険会計について  
平成21年度グループ保険会計収支計算書(案)並びに平成22年度収支予算書(案)について  
平成22年度グループ保険募集結果並びにシェア改定について
  3. 第一生命の株式会社化に伴う割当金(経年分)について
  4. 証貸団信の限度額引上げについて
  5. 決算概況について
  6. しんきんカード口座手数料にかかる覚書の締結について
  7. 平成22年度野球大会について
  8. 関信懇総会並びに理事長勉強会について
  9. 理事会等開催日程について
  10. アンパンマンの推進状況について
  11. 委員会等における検討状況について
- 第4回 平成22年9月27日(月)
1. 平成21年度グループ保険会計収支計算書(案)について
  2. 厚生年金基金代議員の推薦について
  3. 事務改善研究会の設置について
  4. 第51回関東地区野球大会の結果について
  5. 委員会名簿について
  6. 委員会等における検討状況について
  7. 金融犯罪情報について

- 第5回 平成22年10月27日(水)
1. 予算総会の日程について
  2. 「わがまち起業家！発掘プロジェクト」について
  3. 厚生年金基金代議員について
  4. 仮決算の状況について
  5. 委員会等における検討状況について
- 第6回 平成22年11月24日(水)
1. 団体信用生命保険の限度額について
  2. 平成23年度一般会計予算(案)の考え方について
  3. アンパンマン総会について
  4. 委員会等における検討状況について
- 第7回 平成22年12月22日(水)
1. 平成23年度事業計画(案)及び予算(案)について
  2. 平成22年度決算見込について
  3. 平成22年度グループ保険会計予算の修正について
  4. 新公益法人への移行について
  5. 規程の改定について
  6. 理事長勉強会について
  7. 平成23年度理事会開催日程について
  8. 平成23年度研修計画(案)について
  9. 分科会・職員相互派遣に係るスキームについて
  10. 「高校・高専生！わがまちビジネスアイデア・コンテスト」の審査結果について
  11. 平成22年度仮決算概況について
  12. 視覚障がい者等に配慮した取組みに関するアンケート調査結果について
  13. 委員会等における検討状況について
- 第8回 平成23年2月9日(水)
1. 通常総会上程議案について
  2. 金融ADRへの対応について
  3. 平成23年度研修計画について
  4. A L O N G 特別号の発行について
  5. 「高校・高専生！わがまちビジネスアイデア・コンテスト」の全国大会審査結果について
  6. 平成23年度利用者満足度調査の実施について

7. 平成22年度PRコンクールの審査結果について
8. 総務部長会議の開催について
9. グループ保険の推進について
10. アンパンマン採用金庫について
11. 委員会等における検討状況について

第9回 平成23年3月24日(木)

1. 東北地区太平洋沖地震への対応について
2. 定款変更(案)について
3. 第60回通常総会開催要項について
4. 平成22年度関信協一般会計および経営者年金会計収支決算見込みについて
5. 管内信用金庫の決算予想について
6. 金融ADRへの対応について
7. 高校生向けコンテストについて
8. 意見交換会について
9. PRコンクール優秀作品の展示結果について
10. チラシ・パンフレット等のひな形共有化への対応について
11. アンパンマンの推進について
12. 委員会等における検討状況について

関東地区しんきん経営者協議会理事会

第1回 平成22年9月27日(月)

1. 新方式(直接加入促進)による推進状況について
2. 経営者年金口座振替(保有)状況について
3. 平成22年度しんきん経営者協議会事業費補助金について

第2回 平成22年10月27日(水)

1. しんきん経営者年金の追加加入・増口の募集について

第3回 平成22年12月22日(水)

1. しんきん経営者年金決算報告について

第4回 平成23年3月24日(水)

1. 平成23年度関東地区しんきん経営者協議会事業の推進について

#### 監事会

第1回 平成22年5月12日(水)

1. 概況説明
2. 帳票監査
3. 講評

第2回 平成22年9月27日(月)

1. 概況説明
2. 帳票監査
3. 講評

#### 経営対策委員会

第1回 平成22年9月8日(水)

1. 業務部会の検討状況について
2. 企画部会の検討状況について
3. コンプライアンス検討会の検討状況について
4. 事務改善研究会の設置(案)について

第2回 平成22年12月17日(金)

1. 視覚障がい者等に配慮した取組み状況について
2. 高校・高専生!わがまちビジネスアイデア・コンテストの最終審査会について
3. 業務部会の検討状況について
4. 企画部会の検討状況について
5. コンプライアンス検討会の検討状況について
6. 事務改善研究会の検討状況について
7. 利用者満足度向上の取組みに関する勉強会の結果について
8. 経営対策委員会の運営について

#### 広報委員会

第1回 平成22年8月4日(水)

- 1．平成22年度広報にかかる事業計画について
- 2．各県協会における今年度広報活動について
- 3．「信用金庫の日」の活動状況について
- 4．アンパンマンの推進状況について
- 5．広報活動に係る意見交換会の結果について

第2回 平成22年10月28日(木)

- 1．平成22年度PRコンクールの実施方法について
- 2．広報に関する意見交換会への対応について
- 3．金融教育活動のアンケートについて
- 4．アンパンマンの推進状況について

第3回 平成23年1月14日(金)

- 1．平成22年度PRコンクールの審査
- 2．平成23年度事業計画(案)について
- 3．PR担当者勉強会の結果について
- 4．PRコンクール受賞作品の展示について
- 5．金融教育活動に関する勉強会について
- 6．アンパンマンの推進について
- 7．意見交換会・職員派遣の実施について
- 8．平成22年度PRコンクールの講評

## 人事教育委員会

第1回 平成22年7月27日(火)

- 1．平成22年度人事教育にかかる事業計画について
- 2．「若手職員育成策に関するアンケート」の集計結果について
- 3．平成22年度B型グループ保険等募集結果について
- 4．平成22年度研修講座の実施状況について

第2回 平成22年11月4日(木)

- 1．「女性職員活性化アンケート」の結果について
- 2．「若手職員に関する意見交換会」の概要について
- 3．「本会主催研修に係るアンケート」の結果について

第3回 平成23年2月4日(金)

1. 人事と研修に関する人事担当者意見交換会の概要について
2. 意見交換会・アンケート調査への対応策について
3. 平成23年度事業計画(案)について
4. 平成22年度研修等実施状況と平成23年度研修計画(案)について
5. 意見交換会、職員派遣の実施について

## 企画部会

### 第1回

平成22年8月10日(火)

1. 企画部会設立の経緯並びに今後の進め方について
2. 事務局報告
3. 部会における今後の検討テーマについて
4. 意見交換

### 第2回

平成22年10月13日(水)

1. 事務局報告
2. 今後の検討テーマについて
3. 意見交換「暴力団等の反社会的勢力排除に向けた取組みについて」

### 第3回

平成22年12月15日(水)

1. 事務局報告
2. 「オンデマンドDM作成処理」について  
株式会社しんきん情報サービス  
総務部 部長 山城 恵司 氏  
課長代理 石川 一平 氏
3. 分科会開催、職員派遣の実施について
4. 意見交換  
「総合業績評価制度について」  
～営業店に対する総合業績評価の実施状況ならびに  
人事考課(賞与)への反映について～

### 第4回

平成23年2月8日(火)

1. 事務局報告
2. 検討テーマについて
3. 意見交換会・職員派遣スキームの進捗状況報告

- 4．年金旅行について
- 5．年金旅行アンケート内容(案)について

## 業務部会

### 第1回

平成22年8月3日(火)

- 1．業務部会設立の経緯並びに今後の進め方について
- 2．事務局報告
- 3．部会における今後の検討テーマについて
- 4．意見交換

### 第2回

平成22年10月7日(火)

- 1．事務局報告
- 2．若年層取引について
- 3．意見交換
  - 「ADRへの対応について」
  - 「取引先の高齢化に伴う対応策について」

### 第3回

平成22年11月29日(月)

- 1．事務局報告
- 2．高校・高専生わがまちビジネスアイデアコンテスト最終審査
- 3．若年層取引について

### 第4回

平成23年1月13日(木)

- 1．PRコンクール審査について
- 2．事務局報告
- 3．高齢者取引の更なる増強策について

## 総務部長会議

平成23年3月4日(金)

- 1．「金融消費行動調査からみた信用金庫の今後のあり方について」  
野村総合研究所 上級コンサルタント 栗山 欣也 氏
- 2．事務局報告

### 13. 全信協・信金中金および県協会等との連携強化

円滑な業務遂行を図るために、従来にも増して全信協・信金中金および県協会等との緊密な連携強化による総合力の発揮に努めた。

特に、地区協会と県協会が従来以上に綿密な連携を図るために県協会事務局長会議を実施するとともに本会より県協会主催会合についても積極的に参加した。

(県事務局長会議)

第1回 平成22年6月21日(月)

1. 関東地区信用金庫野球大会について
2. 会員金庫役員異動の取りまとめ方のお願について
3. 平成21年度決算状況について
4. 高校・高専生! わがまちビジネスアイデア・コンテストについて
5. 部会等の再編成に伴う新設部会への部員推薦の願について
6. 経営者年金加入推進状況について
7. グループ保険新人職員の加入状況について

第2回 平成22年10月29日(金)

1. 野球大会について
2. 委員会・部会の報告について
3. 仮決算の状況について
4. 高校・高専生! わがまちビジネスアイデア・コンテストについて
5. 視覚障がい者団体との意見交換会について
6. 経営者年金加入推進状況について

第3回 平成23年3月4日(金)

1. 信用金庫法制定60周年広報事業の実施について
2. 金融ADRへの対応について
3. 平成23年度「わがまちビジネスアイデア・コンテスト」の実施について
4. 経営者年金の推進について

(県協会主催会合への参加 但し、総会、理事会、役員会を除く)

栃木県協会	5月21日	監査担当部長会議
	5月26日	業務推進担当部長会議

埼玉県協会	10月28日	営業推進部長連絡会議
	1月27日	総務部長連絡会議
	2月23日	人事部長会議
千葉県協会	4月16日	営業担当役員等情報交換会
	6月18日	システム担当者情報交換会
	7月9日	人事担当者情報交換会
	7月16日	営業担当役員等情報交換会
	9月7日	常勤監事連絡会
	9月17日	システム担当者情報連絡会
	10月19日	営業担当役員等情報交換会
	11月15日	研修担当者打合せ会
	12月10日	システム担当者情報交換会
	1月14日	営業担当役員等情報交換会
神奈川県協会	3月4日	常勤監事連絡会
	3月11日	システム担当者情報交換会
	1月26日	しんきんカード推進会議
新潟県協会	6月24日	営業部会
	6月25日	融資部会
	2月18日	常勤監事連絡会
	3月9日	営業部会
山梨県協会	7月20日	業務推進会議
	10月21日	甲信越3県合同業務推進会議
	~22日	
長野県協会	12月8日	業務推進委員会
	4月26日	検査情報意見交換会
	7月13日	業務推進担当部長会議